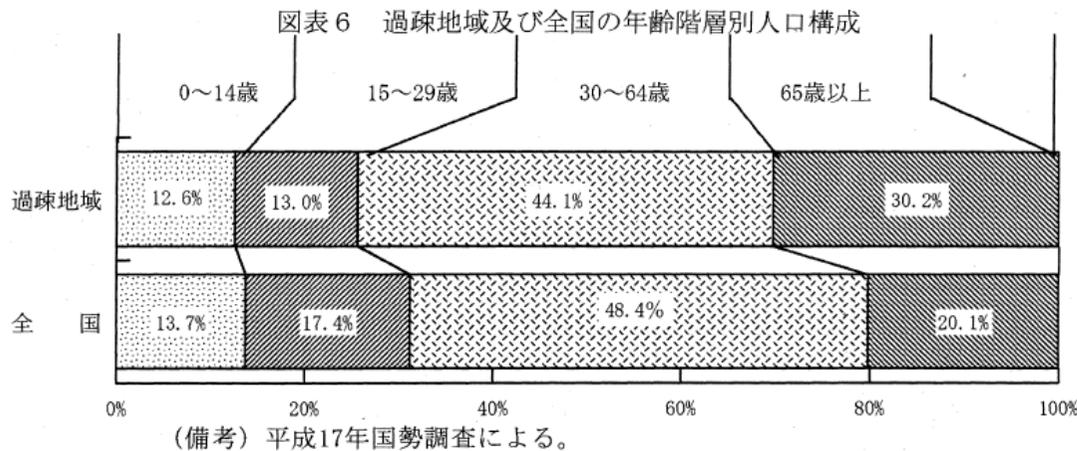


# 過疎地域の現状③(人口構成)

## (過疎地域の人口構成)

- 過疎地域における年少人口(0~14歳)の割合は、全国と大きな差は見られない。
- 年少人口(0~14歳)の推移は、全国に比べ緩やかではあるが、一貫して減少傾向にある。

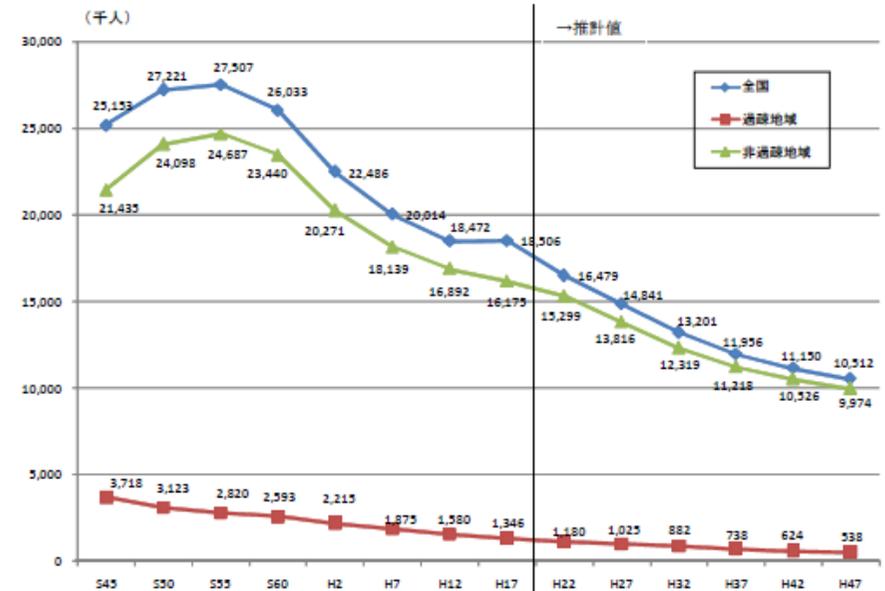


<参考>

| 圏域       | 年少人口(0~14歳)<br>(単位:千人) | 全国の年少人口に占める<br>各圏域の割合 |
|----------|------------------------|-----------------------|
| 全 国      | 17,521                 |                       |
| 三大都市圏    | 8,407                  | 48.0%                 |
| 地方圏      | 9,114                  | 52.0%                 |
| (うち過疎地域) | (1,346)                | (7.7%)                |

H17国勢調査より

【図表 17 0~14歳人口の推移について】



※備考

- ①過疎地域は平成19年4月1日時点。
- ②平成17年までの人口は国勢調査による。
- ③全国の推計値は「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」の中位推計による(国立社会保障・人口問題研究所)による。
- ④非過疎地域の推計値は、全国の推計値から過疎地域の推計値(総務省過疎対策室試算)を引いて算出した。

【出典:総務省『「過疎対策の現況」について』(平成20年9月)】

【出典:総務省「時代に対応した新たな過疎対策に向けて(これまでの議論の中間的整理)(平成20年4月)】